

## 京都産業大学の “今”と“これから”をお届けします

学長メッセージ	P.01
新型コロナウイルス感染症への対応について	
進路・就職支援センター長メッセージ	P.03
2019年度卒業生の就職・進学状況	P.04
データで見る「就職に強い」京都産業大学!	P.05
就職活動をスタート前から徹底サポート	
就職活動スケジュール2021	P.06
2019年度卒業生就活レポート	
教員紹介	P.07
卒業生インタビュー	P.09
NEWS 注目の話題をご紹介します	P.11
2019年度決算	P.15
2020年度予算	P.17
新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み	P.18





## 学長メッセージ

2020年10月より学長に就任いたしました黒坂です。

私は1986年より本学と共に歩んでまいりましたが、その中で、

学生には「学びのプロセスは階段を上るようなものだ」と伝えてきました。

坂道であれば足を少しでも前へ出せば進むことができますが、階段は意志を持って足を上げ、確かな一歩を踏み出さなければ進めません。そこに苦勞があっても、意識的に前へ、上へと進むからこそ成長に満足できるのです。

我々に求められるのは、学生がより高く階段を上るための意欲を引き出し、

大学のスローガンである“むすんで、うみだす。”喜びを知ってもらうことだと考えております。

さて、本学では2015年に“今後積極的に取り組むべき施策”として「神山STYLE2030」を策定しました。

学長としてこの不断の改革を推し進めることはもちろんですが、5年という節目を迎えた今、大学としての原点、すなわち「教育と研究」をしっかり検証することが大切だと考えております。

本学創設者・荒木 俊馬による建学の精神の冒頭には「いかなる国家社会においても、

大学は最高の研究・教育の機関である。大学の使命は、将来の社会を担って立つ人材の育成にある」とあります。

各学部でどのような人材を育成するのかを明確にし、その目的を達成するために教員は研究に取り組み、

その成果を教育に還元します。時代に合致した最適なカリキュラムで、常により良い教育を提供できるよう、

教職員一丸となって中身のある改革を進めてまいります。

そして学生が学びへの喜びを持ち、充実した学生生活を送ることができるよう尽力してまいります。

我々は常に、全学生が誇りを持てる大学であるべく前進を続けます。

——— 新型コロナウイルス感染症への対応について

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスにより、

今、大学の運営はもとより学生の生活も大きな影響を受けています。

本学では「新型コロナウイルス感染症に対する活動指針」を提示し、

学生にも周知してまいりました。春学期は全てオンライン授業となりましたが、

秋学期は各施設の消毒や運営方法など感染症対策を講じた上で、

オンラインを併用しながら段階的に対面授業を再開しています。

今後も国内外の情勢を見ながら、実験・実習・演習を中心に、

可能な科目から対面授業を徐々に増やす予定です。

「withコロナ」に対応した形で学内での感染予防を徹底し、

学生が安心・安全なキャンパスライフを送れるよう、

また保護者の皆様にも安心してご子女の通学を見守っていただけるよう努めてまいります。

私は本学では初となる、理系の中でも実験系を専門とする学長です。

ウイルスに精通した生命科学の研究者として、

サイエンスに基づいた合理的な判断で指揮にあたってまいります。

学長 黒坂 光 AKIRA KUROSAKA





# 進路・就職支援センター長 メッセージ

山田 修司 [副学長・理学部教授]

合言葉は「ラブ&パッション」。  
教職員一丸となって全力でサポートしています。

本学の就職支援のポリシーは、就職試験に合格してもらうことではなく「学生一人一人に満足度の高い就職を叶えてもらうこと」。就職はゴールではなく社会人としてのスタートであり、人生の通過点です。就職活動を通して自分に向き合い成長し、満足できる人生を歩んでほしい。当センターでは愛と情熱を胸に、豊富な人材と情報を元にした手厚いサポートで学生の未来を応援しています。さて、本学は「就職に強い」と言われて長く、日頃からこの評判は学生に「だから私もうまくいくはず」と前向きな影響を及ぼしているように感じます。明るくそして頑張る学生ばかりなので、実際に多くが希望の進路先へ進み、さらに評判が高まります。この素晴らしいサイクルは、代々の卒業生が築いてくれた本学の財産です。そして学生の頑張りを後押ししてきたのが、充実した支援プログラムや支援体制です。情報提供や提出書類の添削などの個別相談、また数多くの就活イベントの開催を通じて、一人一人にベストマッチする進路を学生と共に考えます。

## 当センターの強み

### 【マンパワーの充実】

1学年の学生数は約3,500人。それに対してキャリア教育、進路・就職支援センターの職員スタッフは約60名と、総合大学では全国トップレベルです。

### 【進路把握率100%】

学内のコミュニケーションだけでなく、電話での状況確認などを通じて、毎年、卒業生全員の進路をしっかりと見届けています。

## 就活を控える学生の保護者の方へ 「就職活動期の接し方」

就職活動の進捗は、家族間といえどもナーバスな話題です。特にご経験のある保護者の方は、「こうすると良いよ」とアドバイスしたくなることもあるでしょう。ですが、時代とともに就職活動も変化しています。心配するお気持ちは痛いほどわかりますが、良かれと思つての助言が時代にそぐわなかったり、お子様にとってつらい言葉になったりするかもしれません。保護者の方には、ぜひじっくり話を聞いて「背中にとっ手添えるような言葉」をかけてあげてほしいと思います。気にかけているよ、応援しているよと伝われば、それがお子様にとって何よりの支えになります。もし就職活動の具体的な方法に迷うお子様がいたら、頼れる教職員、進路・就職支援センターの存在をお伝えいただけますと幸いです。

## 新型コロナウイルス感染症による 就職活動への影響は？

企業や経済の今後については予測不可能ではありますが、今年度は例年同様に採用活動が変わりなく行われています。もちろん、移動の制約や面接のWeb化など採用環境は劇的に変化しましたが、本学の学生はそれに対しても柔軟に対応しています。一方で、進路支援の方法もドラスティックな改革が求められていることは事実で、当センターでも各種の就活資料のデジタル化や個別面談のWeb化など、オンラインでの進路支援も含めたあらゆる対策を迅速に進めています。

## 「京都産業大学生は ココがいい！」

企業の採用担当者様から、  
こんな声をいただいています！



### 企業の声

- 「人間力」がある学生が多い
- 自己分析がしっかりできている
- 就職活動時の業界研究・企業研究に熱心
- 働くことに対する意欲が高い
- 幅広く活躍できる人材が育成されている
- 早くから活躍する卒業生が多い
- グローバルな視点を持っている

これらは、合同企業説明会の参加企業や、卒業生が就職した企業の採用担当者様からいただいた声です。進路・就職支援センターでは各企業様とのより良い関係づくりにも尽力しています。学内で開催する企業説明会には、毎回多くの企業様にご参加いただいております。学生全体の印象として「明るく、やる気があり、好感の持てる素直な人物が多い」との評価を得ています。

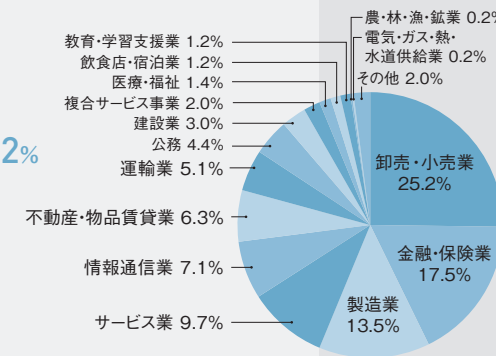
# 2019年度卒業生の 就職・進学状況

毎年、本学では学生一人一人がしっかりと進路に向き合い、  
希望を持ってキャンパスから羽ばたいていきます。  
卒業生の進路や近年の新卒採用の傾向についてお伝えします。

就職・進学状況(学部別) ※この円グラフは就職のみの割合を示しています。

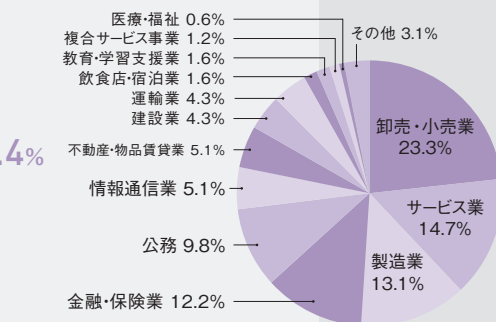
## 経済学部

就職 99.2%  
進学 7人



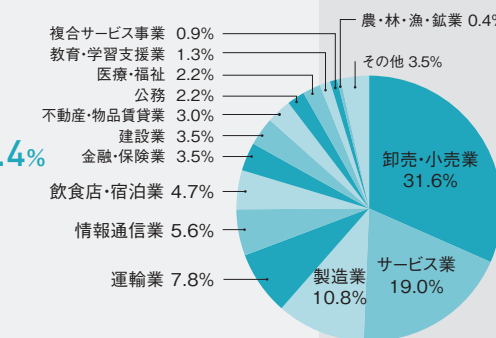
## 法学部

就職 98.4%  
進学 4人



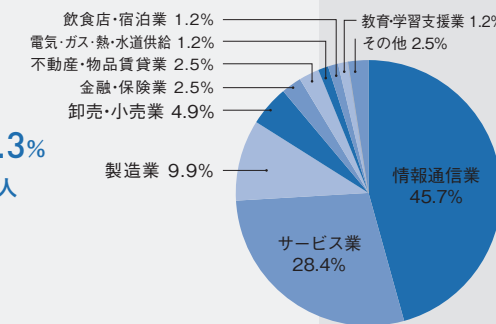
## 文化学部

就職 98.4%  
進学 2人



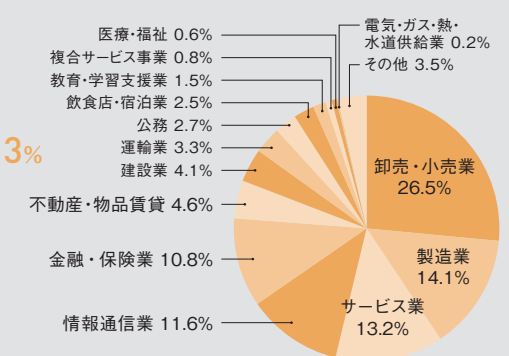
## コンピュータ理工学部

就職 98.3%  
進学 14人



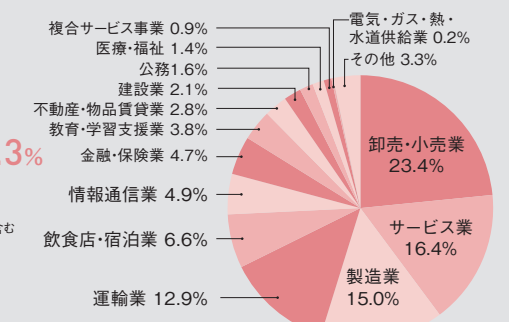
## 経営学部

就職 99.3%  
進学 3人



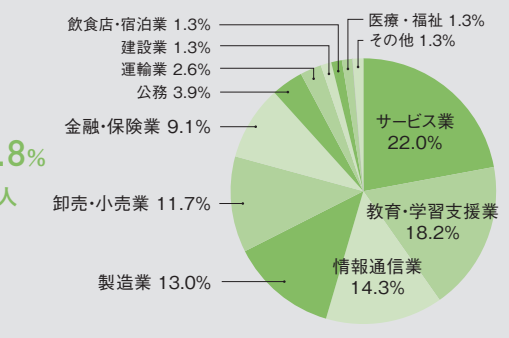
## 外国語学部

就職 98.3%  
進学 4人  
※国際関係学科含む



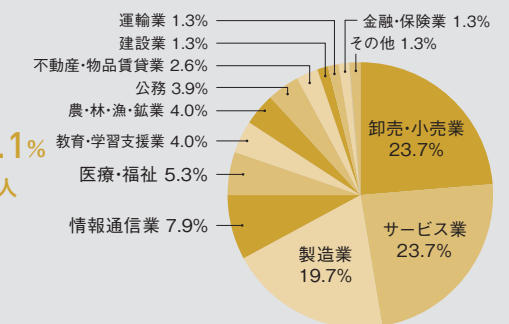
## 理学部

就職 97.8%  
進学 19人



## 総合生命科学部

就職 97.1%  
進学 20人



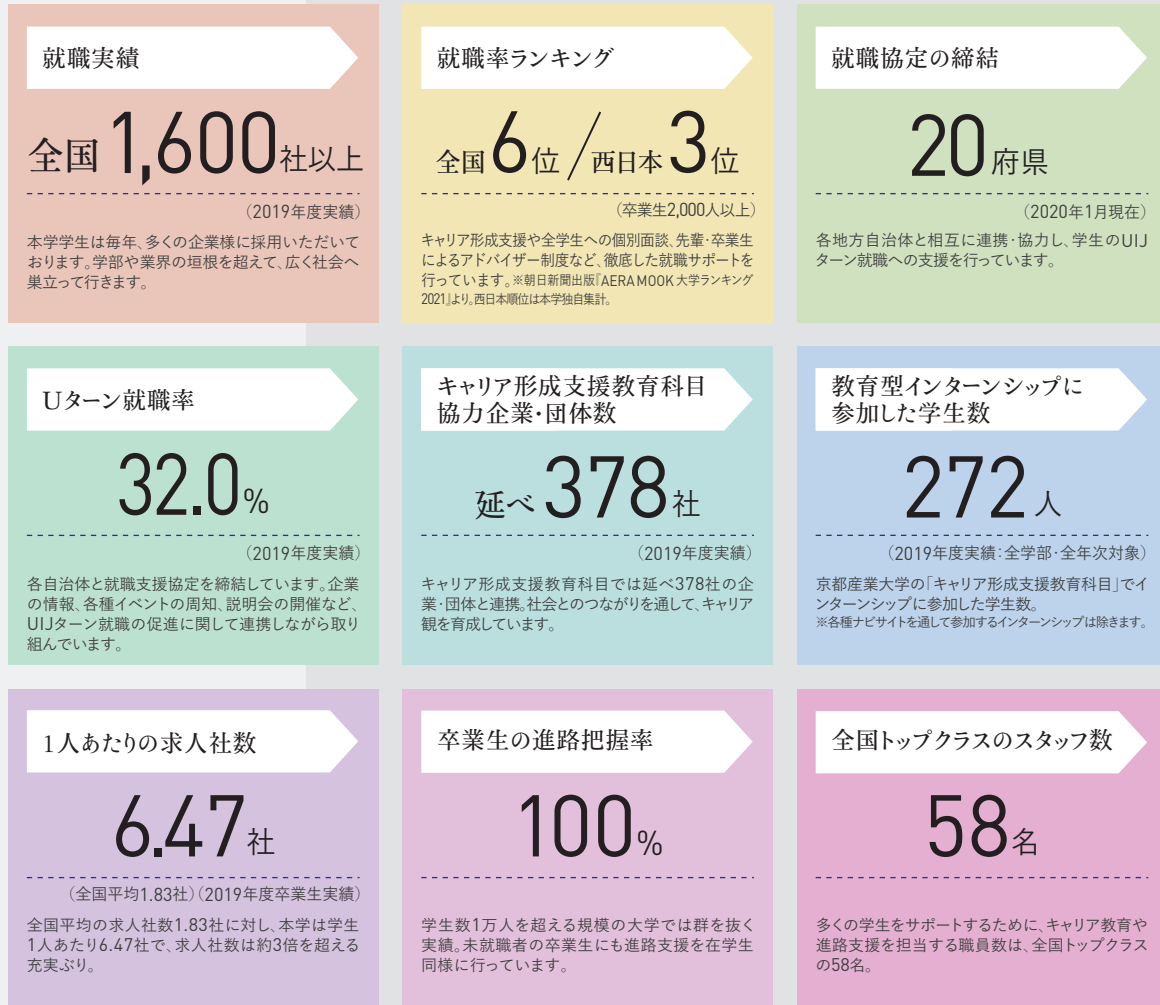
主な就職先などの就職状況については、  
本学WEBに掲載しております。

→→→→→





# データで見る「就職に強い」 京都産業大学!



## 就職活動をスタート前から 徹底サポート

学生が就職活動を始めるにあたり、何から始めてよいかわからないのは当然のこと。進路・就職支援センターでは、就職活動が始まる前から細やかなサポートで一人一人に最適な情報を提供し、未来へと向かう活動を支えています。

就職支援プログラム ~多彩なプログラムの中から代表的な2つをご紹介します~

### ■ 就職登録面談会



就職活動の準備が本格化する3年次の春、就職希望の学生全員に当センターのスタッフが個別面談を実施。就職活動の流れや当センターの活用法の理解に繋げ、スムーズにスタートできるよう支援します。また不安や将来像を丁寧にヒアリングすることで、個人の適性に即したサポートを実現しています。

### ■ 学内での企業説明会



企業の人事担当者などを学内に招いて行う企業説明会。約500社の企業様にご参加いただき、事業の特徴や業務内容などについて、生の声で説明が受けられるセミナーを開催。毎年多くの学生が参加し、進路選択の幅を広げる機会となっています。

## 就職活動 スケジュール2021

知っておきたい就活用語

### ■ インターンシップ

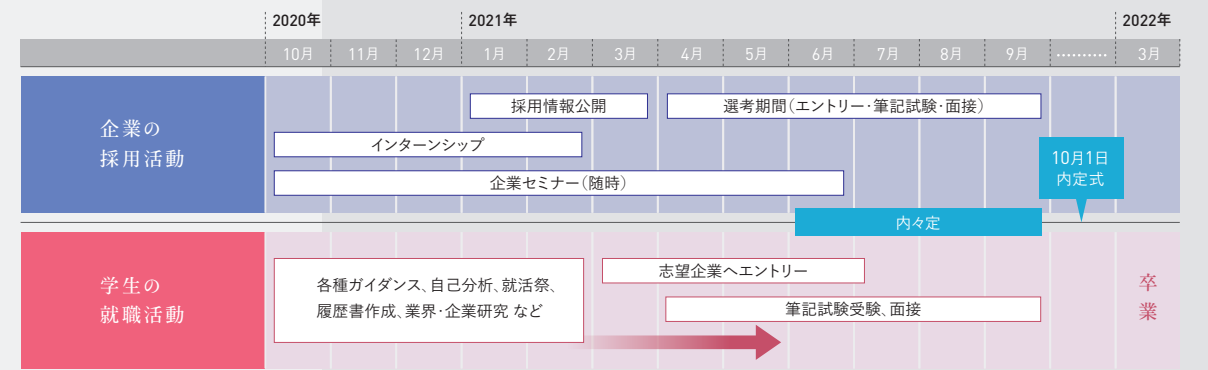
企業や団体が学生に提供する就業体験のこと。学生は興味を持つ仕事を実際に経験し、理解を深めることができます。期間は数日~1ヵ月程度。1日単位で実施する企業もあります。

### ■ 企業セミナー

企業が採用活動の一環として行う学生向けの説明会のこと。事業内容や募集要項をはじめ、採用担当者との交流で働き方や職場の雰囲気など具体的な情報を知ることができます。

### ■ エントリーシート

学生が志望先に応募の意思表示をするための書類のこと。現在、多くの企業の書類選考で使用されています。内容は企業ごとに異なり、学生にとっては自己アピール力が問われます。



\*「企業の採用活動」は一般的な目安です。上記に限らず、選考を行う企業もあります。

### 就活祭



内定を獲得した4年次生が学生就職アドバイザーとして、後輩の就職活動を支援する一大イベント「就活祭」。模擬面接を通してアドバイスもしています。

### インターンシップ事前・事後学習



インターンシップを行う前に、事前学習として行っているビジネスマナー講義。就業体験だけではなく、事前・事後学習にも取り組みます。

## 2019年度卒業生 就活レポート

就職活動は内容も進め方も学生それぞれ。参加して良かった就活イベントや自分なりの工夫など、今年の春に希望する就職先へ入社した卒業生の就職活動レポートをご紹介します。

### 就職先: 国家公務員一般職

公務員を目指して3年次の春から勉強を始めました。筆記試験の科目が所属学部とは無縁の内容ばかりだったため、大学の公務員講座を受講。工夫された授業で理解しやすく、本番の試験では自信を持って解くことができました。公務員試験は筆記試験の学習だけでも大変なので、自分でスケジュールを立てて計画的に進めることが大切だと思います。また面接対策は自分で調べるだけでは不安が大きかったので、進路・就職支援センターや学生就職アドバイザーを頼りました。客観的かつ的確なアドバイスが大変な助けになりました。

### 就職先: 情報通信業

私は働く上で、自らのキャリアアップも地方創生に携わる夢も叶えたいと考えていました。実現可能な企業を探すべく、3年次の春から就職活動の準備を開始。夏に参加した本命企業のインターンシップは、実際の仕事をリアルに感じ取ることができてとても貴重な経験となりました。また10月からの約3ヵ月間、進路・就職支援センターで実施された個別指導型の「内定むすび塾」を受講。自己分析やエントリーシート対策など、マンツーマンで丁寧に対応していただき、自信を持って選考期間を迎えることができました。

### 就職先: 建設業

私は志望業界をなかなか絞れずにいたのですが、学内の合同企業説明会に参加したところ、働きたいと思える複数の企業に出会いました。結果としてこの時の2社から内々定をいただき、直接お話を聞いたことや採用担当の方に顔を覚えていただけたことなど、参加して良かったと感じます。履歴書やエントリーシートについては進路・就職支援センターに通い、何度も添削を受けました。スタートこそ後れを取りましたが、仲間を見習ってあらかじめ自己分析に励んでいたことが、就職活動が本格化する中で功を奏したように思います。

### 就職先: 医薬品・医療機器開発業

就職先の条件として、教育制度の充実や若い世代の活躍実績を重視しました。今は転職が当たり前の時代なので、どれだけ成長できる場であるかが重要だと考えたからです。参加して良かったと思う就活イベントは、在学生・卒業生のコラボによる「就活祭」です。企業で働く卒業生とお話できる時間があり、私は所属学部ならではのアピールポイントをレクチャーしていただきました。また過去のエントリーシートが展示されており、印象に残ったものを参考に作成すると、書類選考を通過することが増えてありがたかったです。





Professor  
**KEIJI YAMADA**

山田 啓二 教授 [学長特別補佐・法学部]



Professor  
**KEIKO KATO**

加藤 啓子 教授 [生命科学部 / 総合生命科学部]

総務省職員、京都府知事として  
地方行政を担ってきた山田教授。  
学生の指導にも「実務家教員」として  
現場主義を貫いています。  
KBS京都ラジオの番組パーソナリティ、  
報道番組のコメンテーターなど  
多岐にわたって活躍中。

## PROFILE

前京都府知事、専門は地域公共論。「行政活動や法律の制定でより多くの人のために働きたい」との考えから、大学卒業後に自治省(現・総務省)へ入省。2002年より京都府知事を4期・16年間にわたり務め、全国知事会長も経験。2018年より本学へ着任。国内外における法政策・地域政策の実務経験者としての知識と経験を生かし、次世代の育成に尽力。



### —— 知識だけでは社会で活躍できない

社会に出て活躍するために、一番大きな武器となるものは何でしょうか。私の答えは「考える力」です。知識は場所が変われば通用しないことがあります。考える力が通用しない場所はありません。総務省時代と京都府知事時代、何千人もの部下を育てる中で実感しました。法学とは、法律を使い社会を良くするための学問です。法律を学ぶのと同じくらい社会課題への気付きを大切に。自らの考えで活躍できる人材になってほしい。その思いから、学生の考える力を伸ばすべく現場重視の授業を展開しています。

### —— 社会的課題、法政策を身近なものに

昨年はずみで京都府舞鶴市へ行き、1泊2日のフィールド・ワークを行いました。海岸に流れ着いたゴミから環境問題を考えた時のことです。ゴミを回収するだけでなく印字された言語で分類してみると、日本語以外に韓国語や中国語のものも大きな割合を占めていました。学生にとって、これだけでも環境問題が国境を越えた課題だと肌で感じられますよね。そこで京都議定書の存在にふれると、世界規模の取り組みと、自分の目の前にあるゴミが繋がる。こういった社会への気付きが、考える力を育みます。現場には教科書だけでは得られない学びが数多くあります。



### —— 「私だから伝えられること」で学生を刺激したい

本学の名にある“産業”は“むすびわざ”と読み解いており、私はこれを「社会で多くの人と交流し、自分なりの実をむすび、たくましく生きていく力」と解釈しています。そして私には知事時代に各国の首脳に接した経験があり、現在も様々な場所でいろんな人と仕事を共にし、人や物事をむすぶ実務家でもあります。実務家の私が教員として果たせる使命は、現場で吸収してきた生きた知識と今の社会を学生たちに伝えること。今後ともたくましい次世代の育成に尽力していきたいと思っています。

医学博士、獣医師で  
精神疾患を研究する加藤教授。  
研究者として豊富な実績を有しながら  
教育にも大きな熱量を向け続け、  
「学生と共に」をポリシーに  
研究機関や企業等との共同研究に  
取り組んでいます。

### —— 学生との研究が世界から注目される発見に

うつや不安症など精神疾患に注目し、マウスを使った研究を進めています。2020年2月、学生と共に進めてきた研究の一つが世界初の発見として実を結びました。内容は、モデルマウスの尿に含まれる匂い物質を分析すると、うつ・不安症モデルのマウスのみ特異的に変化する物質があるというものです。「学生と一緒に研究したい」と考えて教員を務めてきた私にとって、大変嬉しい出来事でした。現在は、この物質を生み出す代謝経路の発見や、人間の診断技術への応用に取り組んでいます。

### —— 学生をもっとワクワクさせたい

本学の学生はアクティブに学べる人ばかり。学びは意欲さえあればどこまでも深めることができます。「学生たちにワクワクを届けてこそ教員」と心得ており、いつも周囲の教員とその伝え方を模索しています。グローバル社会で活躍するための視点を育てたい思いから、様々な国の学生や研究員を受け入れ共に活動する「さくらサイエンスプラン(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)」の活動にも4年間注力してきました。また日々実感するのが、本学は学生を本当に大切にしているということ。これはいくつかの他大学でも勤務経験のある私だから言えることかもしれません。職員に卒業生が多く、大学を愛し、学生に対しても後輩に接するような親身さがあります。

### —— 研究活動の経験を確かな知識と自信へ

研究者としての私の持論は「研究は両輪で前進する」です。一つは、基礎研究で教科書に掲載されるような現象を見つけたいという熱意。もう一つは学外機関との共同研究を通じた社会貢献の実感です。さらに教員としての私の信念は、この熱意と実感を学生と共有し、研究の喜びを感じてもらうこと。研究環境の整った本学へ入学した以上、就職を目指す学生も大学院へ進む学生も、先端の研究で「協力しながら自らの手で作り上げる喜び」を感じ、確かな知識と自信をつけて社会へ羽ばたいてほしいと願っています。



## PROFILE

獣医師、実験動物医学専門医、医学博士。大学で研究のおもしろさに目覚め、研究者の道を歩む。専門分野は神経科学、糖鎖生物学、実験動物学、獣医学。国内外の研究所・大学勤務を経て、2010年、総合生命科学部創設時に本学へ着任。精神疾患に注目し、感情を伴う記憶の成り立ちについて研究中。脳神経の可塑性に関するユニークな研究で世界的に注目を集める。



キャンパスで出会った仲間たちと  
かけがえのない時間を過ごし、夢を追い続け、  
今、社会で自分らしく輝く本学の卒業生をご紹介します。

## 映画監督

### 中野 量太さん

Ryota Nakano

1997年 外国語学部 言語学科 イタリア語専修 卒業  
(現・外国語学部 ヨーロッパ言語学科 イタリア語専攻)

大学って、自分の可能性を伸ばしたり  
チャンスを見つけたり、夢を無限に広げられる場だと思います。  
私の場合は未経験だった音楽活動、  
思いがけずハマった一人旅、  
何より大切な仲間との出会い……。  
すべてが今に繋がる経験です。  
京都産業大学での4年間がなければ今の私はいません。  
そして、挫折を経験しながらも夢を諦めずにいられたのは、  
私の活躍を喜び、褒めてくれる存在がいたからです。

#### 大学生活の中で見つけた 未来の夢のヒント。

小さい頃から人とは違うこと、ちょっと変わったことがしたいタイプで、  
イタリア語専修を選んだのもその感覚の延長でした。何か大きな夢が  
あって大学に進んだわけではなく、大学で何かを見つけたいと思って  
いたんです。ユニークな仲間と囲まれ、様々なことに挑戦して。自分の  
内側を見つめながら、期待通り有意義な4年間を過ごせました。特に大  
きかったのが仲間と4年間続けたクラブ活動です。楽器を弾いたことは  
なかったのですが、学科の友人とフォークソング愛好会に所属し、総勢  
11人の大所帯でスカ・バンドを立ち上げました。私の担当はアルトサク  
クス。仲間もほとんどが初心者でしたが、みんなチャレンジ精神旺盛で  
「とにかくやってみよう!」と。そこで音楽演奏を通じて「表現して人を楽  
ませる喜び」を知ったことが、映画の道へ進むきっかけになりました。



#### 「表現の最高峰をつくりたい」 その思いの先に映画があった。

将来を考え始めたのは3年次の時です。就職活動に励む周囲を眺めなが  
ら「自分は何をして生きていきたいのか」と真剣に考えました。たどり着い  
た答えが、バンド活動で知った「表現で人を楽しませること」です。そして私  
にとつての「表現の最高峰」とは、音楽も映像もあつて国境がないもの。映画  
でした。バンド活動を始めた時と同じく、それまで映画監督を目指したこと

#### profile

1973年生まれ、京都育ち。「人生を考える時間だった」と語る大学時代を過  
ごし、卒業後は夢と決めた映画監督に向かって邁進。日本映画学校(現・日  
本映画大学)へ入学し、卒業制作『パンザイ人生まっ赤っ赤。』(2000)が日  
本映画学校今村昌平賞、TAMA NEW WAVEグランプリなどを受賞。映画  
の助監督やテレビのディレクターを経て、自主短編映画『ロケットパンチを  
君に!』(2006)でひろしま映像展グランプリをはじめ7つの賞に輝く。その  
後も『琥珀色のキラキラ』(2008)や『チチを撮りに』(2012)などを発表し、  
国内外で高い評価を受ける。2016年秋、商業長編映画『湯を沸かすほどの  
熱い愛』で念願の商業映画監督デビュー。日本アカデミー賞で6部門を受  
賞し、国内の映画賞を席卷。第90回米アカデミー賞外国語映画賞に日本  
代表作品として出品された。『長いお別れ』(2019)では、直木賞作家の中  
島京子の同名小説を映像化し大きな話題を呼んだ。独自の視点と感性で  
「家族」を描き続けている。

もなければ映画が大好きというわけでもありませんでした。でも「自分は  
映画制作がしたいんだ」と確信し、卒業後に関東にある日本映画学校(現・  
日本映画大学)へ。大学を出てもう一度学校に入ることに不安もありましたが、  
すぐに映画作りのおもしろさに引き込まれていきました。卒業制作で初めて  
監督を務め、自分で書いた脚本をゼロから映画へと作り上げた時には、  
その過程にたまたま興奮しましたし、学内外でいくつか賞をいただき、  
すっかり抜けられなくなりました。

#### 2年目の挫折。 熱意は変わらず自主映画の制作へ。

映画学校の卒業後は助監督で下積みするつもりでしたが、そこで挫折  
を味わいました。新人の助監督は撮影にまつわる雑務を引き受けるこ  
とが多いのですが、私は芝居が気になるあまり自分の仕事を忘れてば  
かりで。当然怒られて途中でクビになったことも。結局2年で助監督は  
辞めてしまい、しばらくはTV番組の制作に関わる仕事に就いていま  
した。ですがどうしても映画への未練を手放せず、短編自主映画の制作  
をスタート。数年に1本発表することを続け、ありがたくもどの作品も高  
評価をいただきました。ただ、プロになれないまま40歳が近づき……。  
このままではどうにもならないと、38歳の時に最後の勝負に出るつもり  
で、初の長編作品『チチを撮りに』を制作。それを見た映画プロデュ  
ーサーの方から「商業映画と一緒につくりたい」と声をかけていただき、制  
作したのが『湯を沸かすほどの熱い愛』です。映画学校を卒業してか  
ら16年、京都産業大学の卒業からは19年かかり、念願のプロ映画監  
督としてデビューしました。

#### 諦めずにいられたのは家族や周囲のおかげ。

喜びの声や褒め言葉は、人が生きる上での大きな糧になる。人って褒  
められることが大事だと思います。私が挫折を経験しながらも夢を諦め  
ずにいられたのは、私の活躍を喜び、褒めてくれる家族や周囲の存在  
があったからです。多くの作品で家族の姿を描いてきましたが、きっと  
それは私にとって「家族」が幸せの場所であったからと思うんです。映画  
学校に行きたいと言いついた時、家族は心配もしていたでしょうが、応援  
してくれました。「家族を喜ばせたい」その思いがいつもあります。家族愛  
は素晴らしいと無闇に主張したいわけではありません。ただ「まあ、家  
族って悪くないよね」くらいは伝えたい。生きるって、それだけで悲しいこ  
とやつらいことにたくさん遭遇しますよね。だから物語の設定にもシビア  
なものが多いのですが、その中で家族や人どうしが助け合う姿を描きたい  
んです。

#### 挑戦こそが自分の可能性を広げる。 ぜひ活気に満ちた4年間を。

大学生の自分は勉強です。それはもちろんですが、卒業後の長い人  
生を考えると、自分を成長させてくれることは勉強以外にもたくさんあ  
ります。特に京都産業大学はワンキャンパスで、様々な人、物事への出  
会いがあふれています。学生の皆さんには、自分のアンテナにピンと  
くるものに片っ端から挑戦する4年間を送っていただきたい。僕はそ  
れがバンド活動と一人旅でした。チャレンジ自体がきっと将来の可能性  
を広げます。そして保護者の方々には、ぜひその姿を応援してあげ  
ていただきたいです。大切な家族が応援してくれるれば、それだけで子  
どもは大きな力を発揮できると思います。

#### 中野監督から、新作『浅田家!』の コメントをいただきました。

10月2日(金)公開の映画『浅田家!』は、写真家・浅田政志さんを  
主人公にした家族の物語です。ユニークな家族写真を撮る浅田  
家の日々と東日本大震災が主軸の話になります。浅田政志さん  
は、震災の津波で泥だらけになった写真を洗浄し、元の持ち主に  
返すボランティア活動に参加していた方。私自身、一人のクリエ  
イターとして「3.11」というテーマを放っておくことはできないと  
ずっと思ってきました。浅田さんと出会って、このユニークな浅田  
家を通してなら自分なりの「3.11」が描けると思ったんです。家族  
への愛とともに写真家として活動されてきた浅田さんと、「映画  
で母と兄を喜ばせたい」という思いで活動してきた私、通じるも  
のを感じました。浅田さんご家族の実話をもとに取材を重ね、  
家族の物語が中心にありながら「3.11」を描くオリジナル・ストー  
リーが完成しました。

2020年10月2日(金) 公開



浅田家! ©2020『浅田家!』製作委員会 配給:東宝

#### 代表作(監督/脚本)



長いお別れ(2019年公開)  
©2019『長いお別れ』製作委員会  
配給:アスミック・エース



湯を沸かすほどの熱い愛(2016年公開)  
©2016『湯を沸かすほどの熱い愛』製作委員会  
配給:クロックワークス





学生による意欲的な取り組みや設備の充実、学術的発展など  
本学は日々、活発な活動で未来に向けて進んでいます。  
昨年秋から1年間にわたる注目ニュースをお伝えします。

## TOPICS

TOPICS  
01

## 新型コロナウイルス感染症対策を強化。学内にPCR検査センターを設置

2020年9月

京都産業大学と株式会社島津製作所との  
包括的連携協力に関する協定の締結

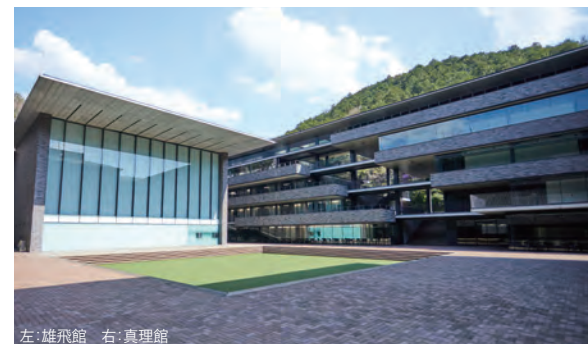
9月1日(火)、新型コロナウイルス感染拡大防止への新たな取り組みとして、学内に「京都産業大学PCR検査センター」を設置することを発表しました。これは株式会社島津製作所との包括的連携協力に関する協定の下、産学公連携で実現するものです。同日、京都産業大学むすびわざ館で行った協定締結式には、大城光正学長(当時)と、株式会社島津製作所の上田輝久代表取締役社長が出席。協定書への署名を行いました。本事業は京都府、京都市とも連携して展開することから、西脇隆俊京都府知事、門川大作京都市長にも出席していただきました。今後は本学と株式会社島津製作所が互いの持つ知的・人的・物的資源を結集し、新型コロナウイルスの無症状感染者による感染拡大の防止のため、また学生と教職員がより安心・安全にキャンパスライフを過ごせるよう、必要に応じてPCR検査が受けられる体制を整えていきます。さらに「京都産業大学PCR検査センター」に関する事業は地域貢献も目的としており、万が一に京都府内、市内の検査状況が逼迫した際には、京都府、京都市の依頼に基づいて調査協力を行うための衛生検査所としての整備も視野に入れていきます。京都府、京都市とも連携を図りながら、学生の街・京都における感染拡大防止に貢献します。



左から、門川市長、上田社長、大城学長(当時)、西脇知事

TOPICS  
02さらに充実したキャンパスに向けて  
新たな学び舎「真理館」が竣工

2020年2月



左:雄飛館 右:真理館

2月に完成した「真理館」は現代的でありながら自然豊かな風景との調和を重視したデザインで、芝生広場に面する1階にはフードコートや会議室、2～5階には教室やグループワークに活用できる多目的室を備えています。明るい自然光が降りそそぐ教室、憩いの工夫を凝らした廊下や屋根付きテラス、吹き抜け階段のウッドデッキには、88の星座を配置するなど、学生がキャンパスでより多くの時間を過ごせるよう、授業中だけでなく授業の合間にも思い思いに過ごせる多様なアイデアを盛り込んでいます。

TOPICS  
03地域共生・連携のための学外拠点  
「町家 学びテラス・西陣」を開設

2020年9月



伝統だけでなく、魅力あふれる京都市西陣に「町家 学びテラス・西陣」を開設しました。本学では、京都府綴喜郡井手町(むすび家ide)、京都府綾部市(綾むすび館)、香川県小豆島土庄町(夢すび館)に続く4つ目の学外地域交流拠点です。この町家で、学生だけでなく、地域や社会で活躍している方などが集い、交流を通じて人と人をむすび、地域活性化や社会課題の解決などに取り組んでいきます。世の中を明るく「照らす」、そのような人を育成するための拠点です。

## 学部

伊・国立ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学と  
教員養成の新プロジェクトをスタート

外国語学部

2019年10月



イタリアにおける外国語教育の名門である国立ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学と、EUの中心的な教育助成プログラム「エラスムス・プラス」の協定書を締結。現在、3年間にわたる外国語の教員養成プロジェクトを進行中です。このプログラムを通じて本学部の授業を質的に向上させ、海外の大学との交流をさらに発展させていきます。

## 学部

菅原ゼミの学生が  
政策研究交流大会で研究成果を発表

経済学部

2019年12月

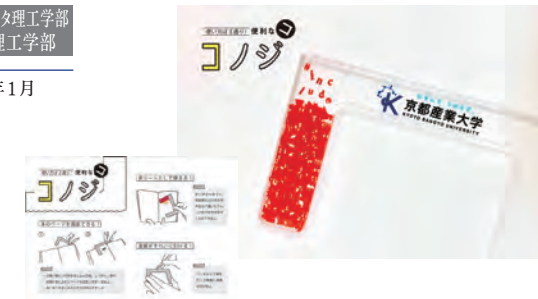


大学コンソーシアム京都主催の「京都から発信する政策研究交流大会」は、都市が抱える課題を発見・研究する学生の発表の場です。本学からは菅原ゼミが参加し、「アプリを活用した京都市公共交通機関の効率的な利用」「地域ブランドを活かした地域活性化」「京都市の高齢運転者免許返納について」をテーマに発表を行いました。

## 学部

最新デジタル工作機器を使用し、  
受験生用学習支援グッズを開発コンピュータ理工学部  
情報理工学部

2020年1月



学生が自身の受験経験を生かしたオリジナルグッズ「コノジ」を開発。コンパクトな形状に、ブックオープナー機能、暗記用の赤シート機能、波線の定規機能を備え、デザインには情報理工学部らしいプログラミング言語のモチーフを盛り込みました。開発には学内のデジタルものづくり施設「ファブスペース」のレーザーカッターやUVプリンタを活用し、パッケージデザインまでを一貫して学生が行いました。

## 学部

京都市北区役所との連携で  
中学生向け「食と健康」体験型講座を開催

現代社会学部

2019年11月



現代社会学部健康スポーツ社会学科が主体となり、京都市立西賀茂中学校で「次世代ヘルスケア事業」の講座を開催しました。ワークショップでは、学生たちが食育SATシステムを使用し「理想的な朝食」を紹介。大切な成長期にある中学生に、献立づくりを通して健康的な生活リズムを考える機会を提供しました。

## 学部

民法系ゼミが集う歴史ある全国大会で  
高嵩ゼミの学生が特別奨励賞を受賞

法学部

2019年12月



全国の大学から民法系ゼミが集結する討論会「インターカレッジ民法討論会」に法学部の高嵩ゼミが参加。九州大学、早稲田大学、慶應義塾大学、法政大学など日本各地から出場した7大学9ゼミの学生たちと、「スマホ通信サービス」の事例問題について法律の解釈・適用の正確さや質疑応答の的確さを競いました。

## 学部

動物生命医科学科の学生8名が  
難関資格認定試験に合格!

総合生命科学部

2020年2月



動物実験に関する高い知識・技術が必要とされ、大学生にとってはかなりの難関試験として知られる「実験動物1級技術者認定試験」。実験動物技術の発展や医薬品開発の分野での活躍が期待される大変価値のあるこの認定試験に、動物生命医科学科から8名の合格者が誕生しました。



学部 宇宙物理・気象学科の学生が  
気象予報士試験に合格

理学部

2020年3月



気象予報士試験に宇宙物理・気象学科の学生が合格。国家資格「気象予報士」を取得しました。気象予報士試験は、毎年合格率が5%前後にとどまる超難関試験として知られています。今回の試験では受験者2,969名のうち合格者は172名、合格率5.8%でした。

学部 商店街を盛り上げるアイデアで  
地域の魅力発信へ

経営学部

2020年6月



赤岡ゼミでは、商店街内のミニシアターや上映スペースをコアに、近隣の店舗から惣菜やスイーツを取り寄せられるようなアイデアを考案する活動を行っています。今年度は、考案したアイデアを京都府の「商店街アイデア実現プロジェクト事業」へ応募しました。今後も地域の共存・共栄・魅力発信に繋がるような取り組みを行っていきます。

研究 「日本書紀の成立と記事の虚実」  
公開シンポジウムを開催

日本文化研究所

2020年1月

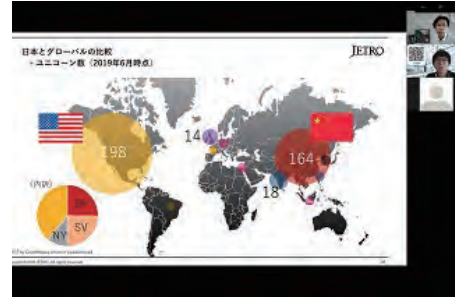


日本書紀の成立からちょうど1300年にあたる2020年に、日本文化研究所公開シンポジウム「日本書紀の成立と記事の虚実」を開催しました。日本書紀は、激動の古代東アジアで複雑な編纂過程を経て成立した歴史書です。記事の虚実を含め、歴史学と言語学の観点から日本書紀成立の意義について学際的な議論がなされました。

学部 日本発の企業が世界で飛躍するには？  
JETROより講師を招きライブ講義を実施

国際関係学部

2020年6月



「国際ビジネス論」でJETRO(日本貿易振興機構)より講師を招き、ライブ講義「日本発のスタートアップ企業がグローバルスケール(世界で飛躍)するために」を実施。海外市場における日本企業の現状や社会構造の変化など、Covid-19後の世界にもふれながら語られました。また、学生による企業考察のプレゼンも行い、講評を受けました。

学部 京都の文化・観光の魅力を世界に発信する  
プロジェクトを始動

文化学部

2020年7月

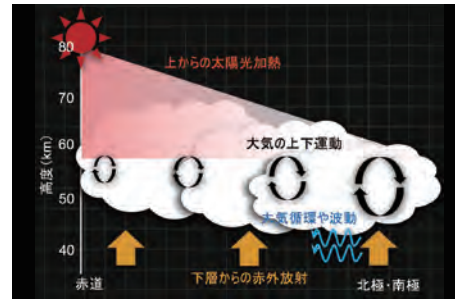


京都文化学科の学生が、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けている観光業の復興の一助を目的に、京都の文化・観光を世界に発信する6つのプロジェクトを始動しました。例えば、万葉集などから季節に合った和歌を詠まれている京都の名所や日本の美しい風景を伝えるなど、今だからこそ京都の魅力を積極的に国内外に発信しています。

研究 金星のグローバルな大気構造を解明。  
探査史上初めての快挙

理学部

2020年2月

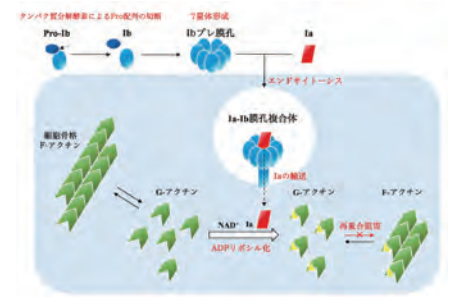


理学部の安藤紘基助教授らの研究グループが、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の金星探査機「あかつき」と欧州宇宙機関の金星周回機「Venus Express」を用いて、金星を覆う分厚い雲の下の大気層における気温分布を全球的に取得。金星をとりまく環境のさらなる解明が期待されます。

研究 タンパク質研究に新たな展開。  
英国科学誌に研究成果が掲載

生命科学部

2020年3月



生命科学部の津下英明教授らのグループが、タンパク質透過機構の一端の解明に成功。本研究成果は英国科学誌「Nature Structural & Molecular Biology」オンライン版に掲載されました。タンパク質の構造や変化に対する一部が明らかになったことで、今後さらなる展開が期待されます。

社会連携 京都マラソンの魅力を伝える  
ボランティアイベントを実施

ボランティア

2020年2月



若者に京都マラソンの魅力を感じてもらおうと、有志の学生らが京都マラソン実行委員会と協力してボランティアイベントを実施しました。古本を回収・換金し、得られた収益を「東日本大震災復興支援」の義援金として寄付するもので、634冊を回収し、計14,331円を寄付しました。

スポーツ 陸上競技部女子駅伝チームが  
富士山女子駅伝で6位入賞!

課外活動

2019年12月



2019全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)が静岡県で開催されました。全国的にも注目度が高く、大学女子駅伝日本一を決める本大会。24チームによる熱戦が繰り広げられました。5区では区間4位の力走で順位を2つ上げるなど、総合順位で6位に入賞しました。

社会連携 地域活性化に向けた新たな取り組み。  
伝統行事の継承に貢献

地域交流

2019年12月



本学にほど近い静原地域の活性化に取り組む学生団体「静原応援隊」は、「農作物のブランド化」で少子高齢化による担い手不足という地域課題に取り組んでいます。2019年5月より開始したのが、地域伝統文化の継承を目指した「しめ縄もち米づくり」。静原神社の御神木に張るしめ縄のための藁作りプロジェクトで、4月の田植えからスタートし、初めて収穫した藁で12月にしめ縄を完成させました。

スポーツ 卒業生の松田光さんが  
WBSC2019年度「最優秀選手」に選出

卒業生

2019年11月



男子ソフトボール日本代表選手として活躍中の松田光さん(2010年経営学部卒、平林金属所属)が、世界野球ソフトボール連盟(WBSC)が発表した「2019年度ソフトボールアスリート部門」の最優秀選手に選出されました。ソフトボールの上野由岐子選手、野球の大谷翔平選手、里綾実選手に続く、日本人4人目の快挙を成し遂げました。

スポーツ 卒業生の大庭岳輝さんが  
京都ハンナリーズへ加入

卒業生

2020年6月



卒業生の太田岳輝さん(2020年法学部卒)が、B.LEAGUE(男子プロバスケットボールリーグ)B1チーム「京都ハンナリーズ」と選手契約を交わし、プロ選手に!在学中より主将として、チームの得点源として華々しく活躍し、2019-20シーズンには特別指定選手契約を交わしていました。



# 2019年度 決算

財務状況/  
事業計画・  
報告



2019年度、京都産業大学では「質重視の教育改革」を基本方針に、ランドデザイン『神山STYLE2030』にもとづいた「教育組織の新設・改編」と「教育内容の充実」を推し進めました。

「教育組織の新設・改編」としては、2019年4月より新たに3学部1研究科をスタート。国際関係学部と生命科学部の新設、経営学部の学科再編、ならびに京都文化科学研究科(通信教育課程)をスタートさせ、学びの領域がさらに広がりました。「教育内容の充実」に向けては、共通教育カリキュラムの改善の検討、キャリア形成支援教育科目改革の推進などに取り組みました。また環境整備に関しては、真理館全館、天地館(西棟)、第6研究室棟が竣工。キャンパス機能をさらに充実させました。

## 2019年度 事業活動収支計算書

当該年度内で行った諸活動に伴う収入・支出の内容と収支バランスを明らかにし、学校法人の経営状況を示しています。

(単位：千円)			
科目	本年度決算	前年度決算	増減
<b>教育活動収支</b>			
収入の部			
学生生徒等納付金	16,561,860	15,887,659	674,202
手数料	1,159,338	1,132,986	26,352
寄付金	189,839	152,106	37,733
経常費等補助金	2,251,931	2,308,568	△ 56,637
付随事業収入	372,791	413,791	△ 41,000
雑収入	592,621	601,065	△ 8,443
教育活動収入計 ①	21,128,382	20,496,175	632,207
支出の部			
人件費	10,767,259	10,705,214	62,044
教育研究経費	7,466,295	7,386,329	79,966
管理経費	1,524,770	1,555,604	△ 30,834
徴収不能額等	108	106	2
教育活動支出計 ②	19,758,432	19,647,254	111,178
教育活動収支差額	1,369,949	848,921	521,028
<b>教育活動外収支</b>			
収入の部			
受取利息・配当金	433,380	443,723	△ 10,342
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計 ③	433,380	443,723	△ 10,342
支出の部			
借入金等利息	47,342	52,676	△ 5,334
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計 ④	47,342	52,676	△ 5,334
教育活動外収支差額	386,038	391,047	△ 5,009
経常収支差額	1,755,987	1,239,968	516,019
<b>特別収支</b>			
収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	543,987	496,373	47,614
特別収入計 ⑤	543,987	496,373	47,614
支出の部			
資産処分差額	234,975	301,992	△ 67,016
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計 ⑥	234,975	301,992	△ 67,016
特別収支差額	309,012	194,381	114,630
(予備費) ⑦	—	—	—
基本金組入前当年度収支差額	2,064,999	1,434,349	630,650
基本金組入額合計	△ 1,984,269	△ 1,956,344	△ 27,925
当年度収支差額	80,730	△ 521,995	602,725
前年度繰越収支差額	△ 12,176,296	△ 11,654,301	△ 521,995
翌年度繰越収支差額	△ 12,095,566	△ 12,176,296	80,730
(参考)			
事業活動収入計(①+③+⑤)	22,105,749	21,436,271	669,478
事業活動支出計(②+④+⑥+⑦)	20,040,750	20,001,922	38,828

## 2019年度 資金収支計算書

当該年度内で行った諸活動に伴う資金の動き全てを記録することで、収入・支出の内容を明らかにし、翌年度に繰り越す支払資金(現金・預金)を示しています。

(単位：千円)			
科目	本年度決算	前年度決算	増減
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	16,561,860	15,887,659	674,202
手数料収入	1,159,338	1,132,986	26,352
寄付金収入	173,785	131,962	41,824
補助金収入	2,764,862	2,747,527	17,335
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	372,791	413,791	△ 41,000
受取利息・配当金収入	473,075	485,957	△ 12,881
雑収入	591,096	599,380	△ 8,284
借入金等収入	2,000,000	0	2,000,000
前受金収入	3,217,800	4,038,053	△ 820,253
その他の収入	2,749,741	4,080,909	△ 1,331,169
資金収入調整勘定	△ 3,879,780	△ 3,685,456	△ 194,324
収入小計	26,184,569	25,832,768	351,801
前年度繰越支払資金	8,562,927	7,011,714	1,551,213
収入の部合計	34,747,496	32,844,482	1,903,014
<b>支出の部</b>			
人件費支出	10,782,663	10,704,080	78,583
教育研究経費支出	4,851,935	4,833,268	18,668
管理経費支出	1,342,081	1,351,531	△ 9,450
借入金等利息支出	47,342	52,676	△ 5,334
借入金等返済支出	596,360	921,220	△ 324,860
施設関係支出	5,060,835	3,448,215	1,612,620
設備関係支出	608,255	417,916	190,340
資産運用支出	2,466,555	2,478,087	△ 11,532
その他の支出	2,119,126	1,390,414	728,712
(予備費)	—	—	—
資金支出調整勘定	△ 2,388,245	△ 1,315,852	△ 1,072,393
支出小計	25,486,909	24,281,555	1,205,354
翌年度繰越支払資金	9,260,587	8,562,927	697,660
支出の部合計	34,747,496	32,844,482	1,903,014

※単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

## 学校法人会計について

学校法人会計と企業会計の違い

企業の目的は営利です。一方、学校法人は教育研究が最大の目的です。そのため企業会計における損益計算とは異なり、収支のバランスと財政状態を正しく捉え、大学の永続的発展を目指します。

学校法人会計基準とは

私学助成を受ける学校法人が適正な会計処理を行うため、また学校法人の経理の標準化を図るため、文部科学省令により1971年に定められたものです。

基本金とは

学校法人がその諸活動を継続的に行うための資産のうち、自己資金で賄った固定資産の取得価額や将来取得する固定資産の積立金、特定目的(奨学事業等)に使用する基金等の額を表すものです。

## 2019年度 貸借対照表

当該年度末時点での資産・負債・純資産(基本金及び繰越収支差額)の内容を明らかにし、学校法人の財政状態を示しています。

(単位：千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
土地	29,780,254	29,777,210	3,044
建物	38,783,906	33,821,171	4,962,735
構築物	2,555,806	2,749,088	△ 193,282
教育研究用機器備品	1,872,718	1,995,058	△ 122,341
管理用機器備品	370,201	358,668	11,533
図書	7,258,675	7,187,788	70,887
車両	6,548	1,580	4,968
建設仮勘定	151,731	2,204,502	△ 2,052,771
有形固定資産計	80,779,839	78,095,066	2,684,773
引当特定資産	46,822,066	46,317,434	504,632
特定資産計	46,822,066	46,317,434	504,632
施設利用権	983	1,134	△ 151
長期貸付金	291,473	7,110	284,363
賞与奨学金	16,442	22,662	△ 6,219
有価証券	10,000	10,000	0
差入保証金	6,350	5,300	1,050
その他の固定資産計	325,248	46,206	279,043
固定資産計	127,927,153	124,458,706	3,468,447
現金預金	9,260,587	8,562,927	697,660
未収入金	1,244,904	838,560	406,344
短期貸付金	11,489	1,740	9,749
賞与奨学金	6,891	8,102	△ 1,210
前払金	1,153	3,293	△ 2,140
立替金	74,464	867	73,597
流動資産計	10,599,489	9,415,489	1,184,000
合計	138,526,642	133,874,194	4,652,447
<b>負債及び純資産の部</b>			
科目	本年度末	前年度末	増減
長期借入金	5,290,200	4,032,840	1,257,360
退職給与引当金	4,582,174	4,597,578	△ 15,404
長期未払金	2,338,922	1,144,072	1,194,850
固定負債計	12,211,296	9,774,490	2,436,805
短期借入金	692,640	546,360	146,280
未払金	1,190,193	1,412,177	△ 221,984
前受金	4,237,800	4,038,053	199,747
預り金	355,658	329,059	26,600
流動負債計	6,476,292	6,325,649	150,643
負債の部合計	18,687,587	16,100,139	2,587,449
第1号基本金	115,997,585	114,561,788	1,435,797
第2号基本金	5,256,036	4,707,564	548,472
第3号基本金	9,500,000	9,500,000	0
第4号基本金	1,181,000	1,181,000	0
基本金 合計	131,934,620	129,950,352	1,984,269
翌年度繰越収支差額	△ 12,095,566	△ 12,176,296	80,730
純資産の部合計	119,839,054	117,744,056	2,064,999
合計	138,526,642	133,874,194	4,652,447

※単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

## ・ 2019年度「決算」まとめ ・

2019年度「決算」を事業活動収支計算書を基に説明します。事業活動収入は、前年度と比較して6億6,900万円増加し、221億600万円となりました。新学部の開設や学部再編等により学生数や学部志願者数が増加し、学生生徒等納付金および手数料が増加したことが主な要因です。事業活動支出は、前年度と比較して3,900万円増加し、200億4,100万円となりました。2019年度は、授業関連経費、奨学金、キャリア形成支援教育、進路・就職支援の推進などにより、教育環境の充実

や質の向上と併せて学生の安心・安全を最優先にした施設・設備の改修を行ったため、教育研究にかかる経費が増加しました。一方、費用対効果の検証を含め支出の見直しを図った結果、管理経費などの支出が減少したことにより、前年度と同水準の支出総額となりました。今後とも、財政基盤の安定化を目指すとともに、学修環境や課外活動など学生生活が一層充実したものとすよう努めてまいります。



# 2020年度 予算

## 2020年度 事業活動収支予算書

(単位：千円)

科目	本年度予算	前年度予算	増減
収入の部			
学生生徒等納付金	17,466,130	16,559,358	906,772
手数料	1,084,357	1,067,738	16,619
寄付金	147,089	89,741	57,348
経常費等補助金	2,322,213	2,196,121	126,092
付随事業収入	381,466	385,603	△ 4,137
雑収入	626,231	561,839	64,392
教育活動収入計 ①	22,027,486	20,860,400	1,167,086
支出の部			
人件費	11,119,444	10,792,836	326,608
教育研究経費	9,281,342	7,746,490	1,534,852
管理経費	1,507,132	1,637,620	△ 130,488
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計 ②	21,907,918	20,176,946	1,730,972
教育活動収支差額	119,568	683,454	△ 563,886
収入の部			
受取利息・配当金	430,580	443,476	△ 12,896
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計 ③	430,580	443,476	△ 12,896
支出の部			
借入金等利息	43,937	48,758	△ 4,821
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計 ④	43,937	48,758	△ 4,821
教育活動外収支差額	386,643	394,718	△ 8,075
経常収支差額	506,211	1,078,172	△ 571,961
特別収入			
資産売却差額	2,347,000	0	2,347,000
その他の特別収入	220,583	281,693	△ 61,110
特別収入計 ⑤	2,567,583	281,693	2,285,890
特別支出			
資産処分差額	42,678	237,013	△ 194,335
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計 ⑥	42,678	237,013	△ 194,335
特別収支差額	2,524,905	44,680	2,480,225
(予備費) ⑦	100,000	100,000	0
基本金組入前当年度収支差額	2,931,116	1,022,852	1,908,264
基本金組入額合計	△ 2,012,000	△ 1,535,426	△ 476,574
当年度収支差額	919,116	△ 512,574	1,431,690
前年度繰越収支差額	△ 12,095,566	△ 12,176,296	80,730
基本金取崩額	2,201,559	0	2,201,559
翌年度繰越収支差額	△ 8,974,891	△ 12,688,870	3,713,979
(参考)			
事業活動収入計(①+③+⑤)	25,025,649	21,585,569	3,440,080
事業活動支出計(②+④+⑥+⑦)	22,094,533	20,562,717	1,531,816

## 2020年度 資金収支予算書

(単位：千円)

収入の部			
科目	本年度予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	17,466,130	16,559,358	906,772
手数料収入	1,084,357	1,067,738	16,619
寄付金収入	132,410	75,650	56,760
補助金収入	2,492,961	2,408,564	84,397
資産売却収入	5,100,000	0	5,100,000
付随事業・収益事業収入	381,466	385,603	△ 4,137
受取利息・配当金収入	466,158	483,170	△ 17,012
雑収入	626,231	561,839	64,392
借入金等収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
前受金収入	2,946,458	3,041,523	△ 95,065
その他の収入	3,604,128	3,837,240	△ 233,112
資金収入調整勘定	△ 4,642,793	△ 3,616,629	△ 1,026,164
収入小計	29,657,506	26,804,056	2,853,450
前年度繰越支払資金	9,260,587	8,562,927	697,660
収入の部合計	38,918,093	35,366,983	3,551,110
支出の部			
科目	本年度予算	前年度予算	増減
人件費支出	11,119,351	10,853,759	265,592
教育研究経費支出	6,588,043	5,191,267	1,396,776
管理経費支出	1,311,920	1,462,499	△ 150,579
借入金等利息支出	43,937	48,758	△ 4,821
借入金等返済支出	692,640	542,640	150,000
施設関係支出	2,212,729	5,533,459	△ 3,320,730
設備関係支出	472,923	686,631	△ 213,708
資産運用支出	3,498,841	2,358,305	1,140,536
その他の支出	992,692	2,044,969	△ 1,052,277
予備費	100,000	100,000	0
資金支出調整勘定	△ 616,199	△ 2,073,734	1,457,535
支出小計	△ 26,416,877	△ 26,748,553	△ 331,676
翌年度繰越支払資金	12,501,216	8,618,430	3,882,786
支出の部合計	38,918,093	35,366,983	3,551,110

※単位未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

### ・ 2020年度「予算」まとめ ・

2020年度「予算」を事業活動収支予算書を基に説明します。事業活動収入は、前年度と比較すると34億4,000万円増加し、250億2,600万円を計上しています。増加する要因は、学部・研究科の設置・再編及び収容定員増の学年進行に伴う学生数の増加等による学生生徒等納付金の増加に加え、土地等の売却に伴う特別収入を計上したことによるものです。事業活動支出は、前年度と比較すると15億3,200万円増加し、220億9,500万円を計上しています。増加する要因は、オンライン授業をはじめとする授業関連経費やキャリア形成支援教育、進路・就

職支援の推進に加え、情報環境整備を目的とした「修学支援金」といった各種奨学金等の経済的な支援の拡充などに伴う支出を計上したことによるものです。今後も学生の意欲的な学びを促す教育や、学生の個性やニーズに応じた進路・就職支援の推進などに加え、対面授業や課外活動の再開に向けた環境の整備を進めるほか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済的に困窮している学生への経済的支援も引き続き行います。感染症対策に全力で取り組むとともに、学生一人一人が安全かつ安心して学生生活を過ごせるよう努めてまいります。

# 新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み

「withコロナ」時代でも保護者の皆様にご安心いただけるよう、  
本学では新しい環境づくりに取り組んでいます。

## 安心・安全なキャンパス環境への取り組み

### 01 検温所を設置

サーモカメラ(2台)を導入し、神山ホールのエントランスロビーに検温所を設置しました。学内への入構ルートを限定し、学生及び来校者の検温を実施しています。



### 03 学生食堂に飛沫防止パネルを設置

学生生活を支える食事の場についても対策を取っています。学生食堂用として、約1,200枚の飛沫防止パネルを各食堂のテーブル上に設置しています。



### 02 消毒の徹底

各建物の入り口に手指用消毒液を設置。また授業に使用する教室をはじめ、廊下・階段の手すり、エレベーター内のスイッチなど共用部の消毒を毎日実施しています。消毒・除菌用品に関しては常に必要な数を確保するよう努めています。

### 04 PCR検査センターを設置

株式会社島津製作所との包括的連携協力に関する協定の下、学内にPCR検査センターを設置しました。学生や教職員がより安心・安全に過ごせるよう、必要に応じてPCR検査が受けられる体制を整えていきます。(11ページに関連記事があります)

## 教育の質向上、学生生活支援への取り組み

### 01 秋学期の授業について

秋学期の授業は、①オンラインで行う授業、②対面で行う授業、③オンラインで行う授業と対面で行う授業を組み合わせた授業、の3つの形態で行います。対面で行う授業については、9月21日から実験・実習・演習科目を中心に、キャンパス内の状況も踏まえながら段階的に対象科目を広げていきます。通学が困難である等の理由により、対面で行う授業に出席できない場合については、オンラインでの受講を可能とする等の対応を行います。また、対面授業を録画し配信したり、オンラインを通じてリアルタイムに配信できるよう、各教室に移動式または設置式カメラ設備を導入しました。

### 02 進路・就職支援の体制について

コロナ対応として、まず可能なものは全てWeb化(個別相談もオンライン化)しました。動画も活用し、タイムリーに「今できること」を明示しながら、教員と職員が一丸となって支援しています。9月以降は感染防止策を講じた上で対面支援も再開。学生がオンラインか対面かを選択できるようにしています。コロナ禍で様変わりした様相を呈している就職環境ですが、全学を挙げて全力で支援してまいります。

キャンパスマガジン「サギタリウス」の特集はこちら。



### 03 自宅学習を支援する図書館サービス

■ 郵送による貸出サービス  
蔵書数115万冊を誇る本学の図書館。本来、図書館の貸し出しには来館しての手続きが必要ですが、コロナ禍による閉館の状況下において、自宅学習を支援するために郵送サービスを開始しました。秋学期からは対面授業の再開に伴い図書館も開館していますが、通学が困難であるなどの理由で余儀なく自宅学習を継続する学生のために郵送サービスを継続します。



### ■ 電子書籍サービスの拡充

2015年より提供している電子書籍サービスも自宅学習を支援するために拡充しました。タイトル数を従来から2倍以上の約3,000に。多くの学生に活用されており、特に語学系や就職活動向けの書籍が人気です。